

図書館からのお知らせ

こどもの読書週間 (4月23日～5月12日) 企画 『今年も走ろう、読書マラソン2023』

村図書館、学校図書館の名物企画、9年目の読書マラソンです。

今年も11コース用意しました。毎年リニューアルのどこでもドアコースには、魅力的なノンフィクションが集結しました。絵本・読み物コースには、ロングセラーを中心としたイチオシ本を集めました。

走るコースは自由、時間制限なし。自分のペースでのんびり走ってみてください。

完走者には完走賞と、宝箱を開ける権利をさしあげます。

※期間中「本が好き・図書館が好き」展も同時開催中。おでかけください。

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館へ!

BOOK No.63 編集＝山形村図書館

『図書館のいま』

～令和4年度の総括

昨年度はコロナ禍3年目の図書館でした。

4月からは、学習室の利用に人数制限があったものの、それ以外は通常運営となりました。

おはなしの会、こぐまやぶつくかふえも再開。このまま収束にむかうかと思われましたが、秋からの第7波は山形村もよそごとではなく、予定のイベントを見送ったり、臨時休館があったりしました。

Table with 4 columns: Category, Heisei 3, Heisei 4, Previous Year Ratio. Rows include total books, borrowers, loans, and visitors.

た。それでも利用は微増ながら増えてきました。

8月からは市町村と県による協同電子図書館「デジタル図書信州」がスタートしました。村内では76人の方に登録いただいています。図書館で簡単に手続きできます。お試しください。

令和5年度がスタートしました。コロナ明けの今年度は、楽しい企画でんこ盛りで行きます。ご期待ください。

なるほど、JINするの! 「親子でお片付け」講座

3月11日(土)、整理収納アドバイザーの藤森妙子さんを講師に、小学生の親子29人が片付けの考え方や方法を学びました。実際に本を棚に戻したり、洋服を引き出しに詰め込むこととたんでしまうこととのちがいを体感したりと、手動かしながら考えました。

子どもとの片付けは、あまり「きれい」を目指し過ぎず、「この棚に戻っていればよい」ぐらいでいいのだそうです。ただし、モノの量が少なければ、片付けるのも早い(確かに...)。そして、教科書や、作品な



どの保管方法もアドバイスしてもらいました。子どもたちは、帰りに図書館の「ギフトエコノミーコーナー」をのぞくも、「物は少ない方がいいんだった」と何ももらわずに帰りました(笑)。学校から持ち帰るものが増える年度末に、子どもたちも自分ごととして考える機会になったかな?

図書館のSDGs ギフトエコノミー

図書館の「ギフトエコノミー」コーナーが人気です。ギフトエコノミーとは贈与経済。お金による売買や取引ではなく、無償の「贈与」や「分かち合い」によって、モノやサービスが循環するしくみです。図書館にこの本を入れたのをきっかけに「おめずりします」コーナーを設置し、たいへん好評です。

誰かの不用なもの、誰かの必要なものになる、その橋渡しをしています。本を見るついでに覗いてみてください。



『おすすめ新着本紹介』

『優の風景』

平林昌廣(山形村在住) クリフト舎

館報やまがたの「みんなの人権コーナー」連載のエッセイを中心にとまとめています。ご本人の人柄そのままの、優しい風景が広がっています。



『庭を彩る宿根草図鑑』

渡辺均監修(新星出版)

庭仕事にいい季節になりました。宿根草は植えっぱなしで手がかららない。ずぼらガーデンにおすすすめ。庭に取り入れるコツを紹介します。



『秘密に満ちた魔石館』

廣嶋玲子(PHP)

「銭天堂」シリーズで人気の廣嶋さんの新作です。寶石にまつわる8編の物語を収録。石好きにはたまらない魅力です。



『しんかい9500』

山本省三(くもん出版)

どんな生物がいる? 地形はどうなっているの? 世界トップクラスの有人潜水調査船が深海の謎に迫ります。



BOOK 63 新着本